

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

|                 |                                                                     |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                 |
| 2. 体験した事例の名称    | 交通事故現場（一般有料道路）でのヒヤリハット                                              |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 事故車両2台が左側路側帯いっぱい停車しており、救出活動に走行車線を使用、追い越し車線を車両が走行していた為、危険であった。       |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 二次災害防止のため、カラーコーンを設置していたが、救助の必要があったこと及び多数負傷者が発生していた為、活動スペースに余裕がなかった。 |

【体験した事例の直接的原因について】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

|                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 1 月 4 日      午前 12 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                             |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：湯浅御坊道路                     |
| 4. 体験した事例の種類                     | 他人が、回答者を負傷させた。                |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。         |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 交通事故、                         |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救助、現場活動初期、 [   ]              |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 人命検索・救出、                      |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1，2回程度体験している。            |

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |                                                                              |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A                | 年齢[ 46 ]歳、勤続年数[ 25 ]年、現場経験年数[ 25 ]年、階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 過去に1,2回程 ]、任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                            |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                            |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |                                                                              |

## 11. 事例発生の経過。

.....

|      | 誰(何)が | なにをした                | その他・備考など |
|------|-------|----------------------|----------|
| 経過1  | Aが    | 事故車両へ救助資器材搬送をしていた。   |          |
| 経過2  | Aが    | 事故車両1で救出活動をしていた。     |          |
| 経過3  | Aが    | 事故車両2の救出へ向かう時にヒヤリハット |          |
| 経過4  |       |                      |          |
| 経過5  |       |                      |          |
| 経過6  |       |                      |          |
| 経過7  |       |                      |          |
| 経過8  |       |                      |          |
| 経過9  |       |                      |          |
| 経過10 |       |                      |          |

### 【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。他隊(員)との連携活動がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | はい  |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | はい  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | はい  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |    |
|----------------|----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。    | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|